

2 5月の見通し

野菜

5月は各品目順調な入荷となることが予想されている。ただし、長期予報では平年より高い気温傾向が続き、前進出荷の結果、端境が発生し、6月以降の相場に影響が出る可能性がある。

「にんじん」は徳島県産から千葉県産へ移行。中下旬に本格出荷となるが、初期の干ばつの影響で早まきの畑が遅れ、次の作型と重なるおそれあり。「たまねぎ」は佐賀県産が大型連休にピークを迎えた後、兵庫県産等の安定した出回りでようやく平年並の単価水準となる見込み。

野菜全体では入荷量は前年をかなり上回り平年並、価格は前年をやや上回り平年並の見込み。

果実

重量面で「すいか類」「メロン類」を中心とした入荷となり、どちらも生育はおおむね順調。「マンゴー」は宮崎県産の生育が前年より良好なため、母の日前にははっきりとした数量がある見込み。

果実全体では入荷量は前年をやや上回り、価格はやや下回る見込み。

販売全般

中東情勢を受け、石油関連資材の調達に支障が出ており、包装資材・インクの確保に影響が出ている。そのため、量販店では、包装資材を使わないば売りや、大量購入での来店回数減少を見込んだ大容量パックの取扱を増やす動きが広がりつつある。これらが今後の出荷形態、荷動き、卸売価格等にどのような影響を与えるかは今後、注視が必要。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (主産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	⇒	↘	↘	⇒	主産地は千葉県。病気もなくしばらくは潤沢な出荷が続くが、中旬から下旬にかけ漸減し、それに伴い相場は浮上していく見通し。茨城県では干ばつの影響で下等級品率がみられる。予想入荷量は前年並で平年をやや下回る見込み。
にんじん	⇒	↘↘	↓↓	↑↑	主産地は徳島県、千葉県。徳島県産が4月末で出荷ピークを迎えており、生育順調なことから5月中ごろまで平年を上回る入荷量の見込み。千葉県産は4月末から出荷が始まり、5月中旬ごろに県内産地が出揃う見込み。予想入荷量は前年並で平年をやや下回る見込み。
キャベツ類	⇒	↘	↗↗	↘↘	主産地は千葉県、神奈川県。神奈川県産は5月上旬にピークを迎え、減少していく一方、千葉県産が中旬ごろから増加し、全体量も増える見込み。
ねぎ	⇒	⇒	⇒	⇒	主産地は茨城県、千葉県。秋冬・春ねぎの品質低下もあり、初夏ねぎへの切り替わりが進む中、4月の単価安の影響もあり、5月は反発して相場が上がる見込み。生育は各産地おおむね順調で前年・平年並の入荷量を見込む。
きゅうり	↗	↘	⇒	⇒	主産地は埼玉県、群馬県。関東産は加温作の入荷が落ち着き無加温作が増加している。重油高騰の影響で無加温作にシフトしたハウスもある。西南暖地産も安定した入荷が続き、5月はおおむね例年どおり月上旬に全国的に数量のピークを迎える見通しで、予想入荷量は前年をやや上回り、平年をやや下回る見込み。
トマト	⇒	⇒	↘↘	↘	主産地は熊本県、栃木県。月上旬から徐々に無加温作の入荷が始まり、下旬には夏秋産地の早出し品の入荷も始まる予定。各産地大きな増減はなく安定した入荷が続く見込みで、入荷量はおおむね前年・平年並を見込む。
びわ	⇒	↓↓	↘	↑↑	主産地は長崎県で月入荷量のうち約95%を占める見込み。ハウス栽培は若干遅れており4月末～5月上旬がピーク。露地栽培は5月上旬から出荷が始まり、20日ごろにピークを迎える。予想入荷量は少なかった前年並で平年を大幅に下回る見込み。

増加 減少

凡例			
⇒	平年並: ±2%	↗↗, ↘↘	かなり高, かなり低: ±6~15%
↗, ↘	やや高, やや低: ±3~5%	↑↑, ↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上